

## 第4期さかえ・つながるプラン（栄区地域福祉保健計画）（素案）に対する 区民意見募集の実施結果について

### 1 実施概要

#### （1）募集期間

令和3年7月7日（水）～8月11日（水）

#### （2）周知方法

ア 素案冊子・概要リーフレットの配架

区役所、区社会福祉協議会、区内地域ケアプラザ、その他区内公共施設 等

イ 素案冊子・概要リーフレットの主な配布先

区連合町内会、区内自治会町内会、区民生委員児童委員協議会、区保健活動推進員、  
区食生活等改善推進員 等

ウ 広報媒体

区ウェブページ、広報よこはま区版7月号への掲載

### 2 頂いたご意見

#### （1）頂いたご意見総数

13件

#### （2）内容について

ご意見は順不同です。

個人の識別性が高い情報や難解な文章などについては原文を要約して掲載している場合があります。

#### ●対応分類

①ご意見を踏まえて、計画に反映したもの

②ご意見の趣旨が素案に含まれているもの、又は素案に賛同いただけしたもの

③今後の検討の参考とさせていただくもの

④計画の範囲外で関係部署と共有するもの

No	ご意見の内容	対応分類	対応の考え方
1	内容・具体的取組の中に、「あいさつ運動」を入れるべきである。	①	『目指すまちの姿（目標）2 取組の視点 2-1』の具体的な取組例に「あいさつ運動」を掲載します（15 ページ）
2	私は毎日生活の中で、あたり前の事ですが、人と会えば必ず、大人の方から小人さんまで声かけをしています。 一言声をかける事で、お互い気持ちが明るく元気が出ると思います。 一言運動と心に決めてこのスタイルを実践しています。	②	挨拶をすることでお互いの気持ちもまちの雰囲気も明るくなり、目指すまちの姿（目標）に近づきます。 引き続き計画の推進へのご協力をお願いします。
3	『目指すまちの姿（目標）1 取組の視点 1-3』 ・「④障害や認知症などにより、・・・」は、認知症も程度によっては障害に含まれることがあるため、「④障害・認知症などにより、・・・」の方がよいのではないか。 ・具体的な取組例の「成年後見制度の普及」は、単に普及とするよりも、制度内容の理解も大切であるため、その点を踏まえた表現とした方がよいのではないか。 ・具体的な取組例の順として、「●成年後見制度の普及 ●あんしんセンターの活用」よりも、判断能力の程度を踏まえて、「●あんしんセンターの活用 ●成年後見制度の普及」の順の方が、よいのではないか。	①	・ご意見のとおり計画に反映します。（13 ページ） ・ご意見のとおり「成年後見制度の理解・普及」とします。（13 ページ） ・ご意見のとおり計画に反映します。（13 ページ）
4	高齢者の一人暮らし、又は高齢夫婦だけの暮らし向きが多く見られ、買物や、庭木の剪定、草むしりなどで困っている方々が多く見られると聞いています。 ボランティアの方々がひとり暮らしの方には、応援等を行っているとのことですが、まだまだ人手が足りないようです。 若者のボランティアの募集を多く募ってください。	①	地域で活動をする人材の発掘について、『目指すまちの姿（目標）1 取組の視点 1-1②』に「担い手の確保」という文言を加えます。（9 ページ） また、若年層のボランティア・地域活動の担い手を募るための取組を進めていきます。
5	地区社会福祉協議会の組織が町内会、各種団体での構成になっている。 未来につなげるプランであるならば、今後の高齢社会を担ってくれる若者等をもっと広くボランティアを募集してはと思います。	①	4 と同様の考え方です。

6	<p>私の地区では、小中学生に対して行ったアンケートから見えてきた課題に対し、小学生・中学生の意見を聞く「子ども会議」（仮称）を創設しようと計画しています。</p> <p>子どもの居場所づくりの推進の中に入るかと思います。</p> <p>学校以外の子どもの生活全般に対する提言も必要かと思います。</p>	①	『目指すまちの姿（目標）1 取組の視点 1-2』の具体的な取組例に、「子どもの意見を聞く場」を加えます。（11 ページ）
7	<p>計画の中に是非、下記に提案します、「大気汚染防止対策」検討して欲しい。</p> <p>圏央道「よこかんみなみせん」の換気所及び釜利谷 JCT に、首都高速道路が採用している「脱硝設備」を設置して欲しいと思います。</p> <p>現計画では、換気所に集めた、廃棄ガスから「煤や微塵」を取り除き「上空高く吹上げ拡散・希釈」するので環境基準は守られるとの事です。つまり、大気汚染の原因となる二酸化窒素は栄区の上空に撒き散らす事となります。</p> <p>環境基準値以下の排気ガスなので周辺に与える影響は極めて抑えられているので、問題は無いとの説明をしていますが、長期間による大気放出により、排気ガスが住宅地に滞留して住民の生活環境の悪化となり、喘息等の罹患に繋がっていくと心配します。</p> <p>首都高速道路では管下の高速道路のトンネルの換気所には、全て「脱硝設備」を設置しており、都民の健康対策に貢献しています。</p> <p>「目指すまちの姿 1」の通り、いきいき暮らせるまちの一部として「緑豊で環境の良いまち」を目指して、綺麗な空気が漂うまちを目指して、対策をして欲しいと思います。</p>	④	いただいたご意見を関係部署と共有します。
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3期では区計画冊子に地区別計画が掲載されているが、ページ数が多いと読む気にならないと思います。例えば、地区別計画部分は冊子に含めずに、7地区をまとめた別冊子を作成した方がよいのではないかと。</li> <li>・概要版を作成する場合には、単に本冊子の抜粋版とせず、区計画冊子を読む動機付けになるような内容がよいのではないかと。</li> </ul>	③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の計画推進の参考とさせていただきます。</li> <li>・概要版について、頂いたご意見を踏まえて作成いたします。</li> </ul>
9	<p>自治会役員の高齢化による活動の低迷による影響を配慮してほしい。</p> <p>例えば、回覧、配布による情報取得の機会の減少や、行事の実施の減少や中止、パトロールなど見守り活動の減少などが考えられます。</p> <p>情報発信の際は、高齢者に必要なものを、理解・入手しやすい形で行ってほしい。</p>	②	必要な情報が広く共有できるよう計画を推進していきます。
	<p>空き家問題についての相談できる窓口を充実させてほしい。</p>	④	いただいたご意見を関係部署と共有します。
10	<p>スマホ教室を小規模で定期的で開催し、スマホの機能（ラインのアプリ）を修得して頂くことで災害時の安否確認や、障害者、生活困窮者などとの連絡に活用できるのではないのでしょうか。</p>	②	『目指すまちの姿（目標）3 取組の視点 3-1』の具体的な取組例で、情報発信の工夫をあげています。必要な情報が広く共

			<p>有できるよう計画を推進していきます。</p>
11	<p>目的がよく判らない。どうやら、公助ではなく、共助のあり方を示しているように見えるが、目指す姿・状態が明確でない。</p> <p>●成果・実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定性的・観念的で、定量的評価が全くない</li> <li>・目標の達成/未達成が、明示されていない</li> <li>・第3期のテーマ毎の振り返りは、3期計画で掲げた項目に触れられていない</li> </ul> <p>例えば、テーマ2、“健康寿命の延伸（平均寿命との格差縮小）”＜定量的数値で表現可能＞</p> <p>テーマ3、“栄区民健康づくり協議会（仮称）の設立”が、設立されたのか/されなかったのか？進捗やその理由 など</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要介護認定率の低さを、栄区の強みとしているが、その理由を説明していないので、その強みを更に活かす術が見えない。第3期で、2016年1月末14.4%（高齢化率28.9%）が、今回は+2.5%で16.9%（高齢化率、+2.1%で31.0%）となっていて、高齢化の伸びより認定率の上昇が上回り、悪化しているようにも見える。市の平均値との差が広がった/縮んだとか、定量的に言及がない（定性的言及もない）</li> </ul> <p>●目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4期計画が達成された5年後のイメージが全く湧かない</li> <li>・抽象的で、心地よい言葉が並んでいるだけに見える</li> <li>・目標値が、定量的でない。定性的にも抽象度が高く曖昧</li> <li>・メルクマール（道程）を示す指標が何なのか（認定率？）、その数値がない</li> <li>・～第3期計画迄の実施結果について、十分に出来たこと（強味）と未だ足りないこと（弱み）が不明確なので、積み上げが出来ず前に進めない</li> <li>・3期の7つのテーマ結果・成果・課題を、どのように読み込むと、今回の3つの目標になるのか判らない</li> </ul> <p>●その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域」という語が、179回（テキストでカウント出来る数）出現し、安易に使われ、その都度意味合いが異なっていることが多い。身近な狭いエリアを指したり、栄区全体を指すと思われたり、バラバラ</li> <li>・「地区」（同27回）も、定義が曖昧。地区連合町内会だったり、ケアプラザ単位だったり、実行レベルが不明確になりかねず、結局実行に至らない</li> </ul>	③	<p>ご意見について、今後の計画推進の参考とさせていただきます。</p> <p>なお、評価に関しては、市域で策定する「第4期横浜市地域福祉保健計画」において、各重点項目に設定する「評価指標」に基づく取組等の推進状況について、「目指す姿」にどれだけ近づいたかという視点で、定量（量）及び定性（質）の両面から総合的に判断し、評価を行っています。その中の対象に、区計画や地区別計画に基づく取組状況も含まれています。</p> <p>今後、区計画における評価方法についてもどのような手法で行うのがよいか検討していきます。</p>

12	<p>障害のある子（医療的ケアなど特別なケアが必要な子）がいる家庭への早期の在宅支援など親の心身への負担軽減となるような支援を希望します。</p> <p>子どもが小さいうちは、子育ての延長として親だけで子どもの介助を行います、親自身もそれを当然と思っているところが大きいです。しかしそのことは子どもが成長しても介助は親がするもの、親（家族）以外の支援を求めにくく、受けにくい状況になりやすくと感じています。</p> <p>障害のある人は誰かの支援を受けての生活が続きます。親が親亡き後を心配することを減らすためにも、障害のある人がその人らしく自立した生活を送るためにも、在宅支援を早期に切れ目なく行われていけば、住み慣れた場所がより安心な場所となり、それぞれがより広がりのある生活ができることになると思います。</p> <p>家族だけで抱え込まざるをえない環境を作らないことは、支え支え合う、誰にとっても住みやすい環境に繋がると思います。</p>	①	<p>『目指すまちの姿（目標）1 取組の視点 1-3』の具体的な取組例 相互理解の促進に、「障害児・者の理解のための講座」を加えます。（13 ページ）</p> <p>また、『目指すまちの姿（目標）2 取組の視点 2-2』の具体的な取組例の項目に、「障害者の暮らしを支える取組」を加えます。（17 ページ）</p>
13	<p>『生活支援体制整備事業』の説明にある、地域包括ケアシステムの構築に向けた3者の連携がどこまで連携がとれているかが問題なのかと思いました。制度と活動がスムーズに繋がっていくことを望みます。</p> <p>「こういう活動をしてほしい」ということを具体的にわかりやすく伝えて頂けたら仕事として動きます。</p>	②	<p>地域ケアプラザ、区社会福祉協議会、区役所の連携がより一層進むよう、それぞれが主体となって計画を推進していきます。</p>